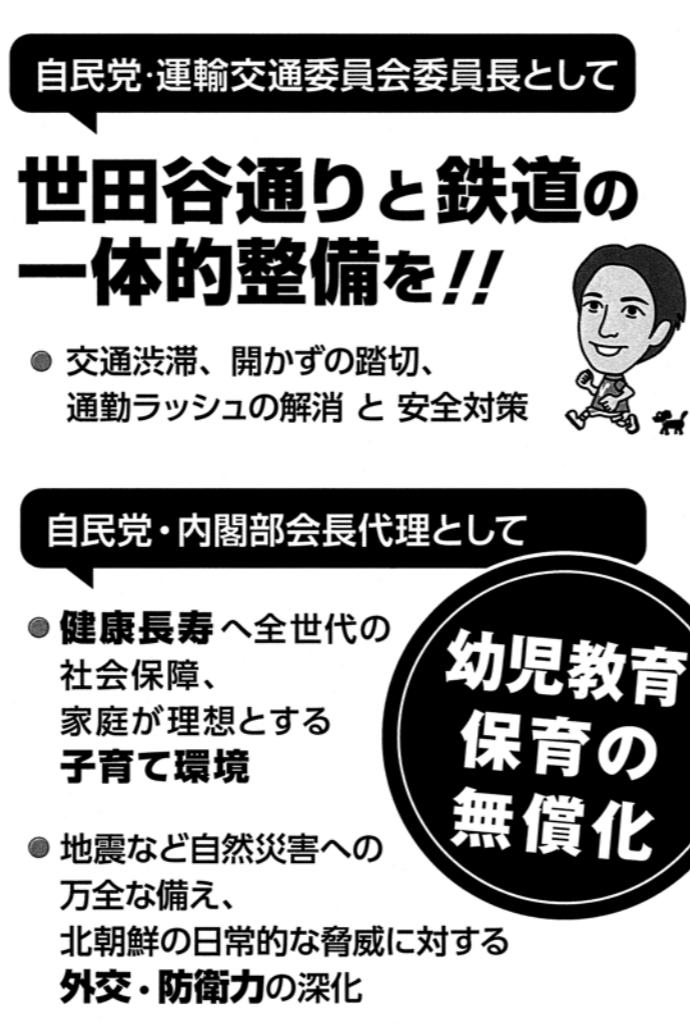
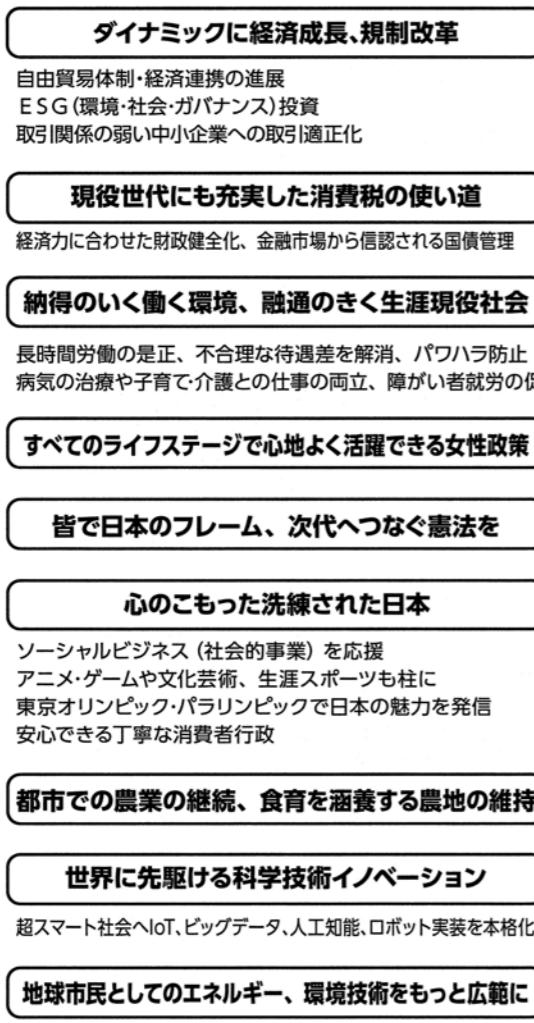
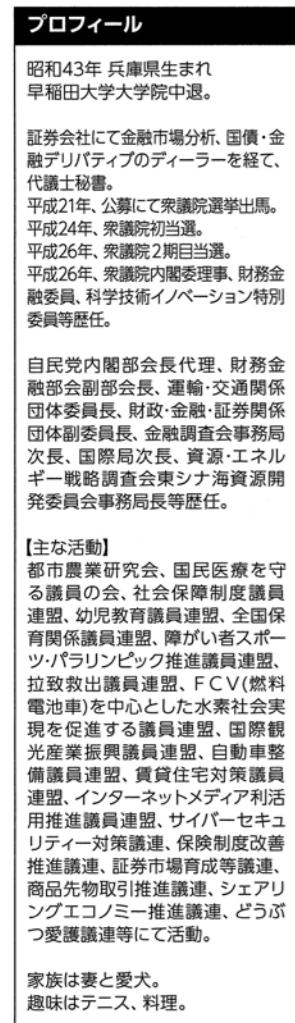


平成29年10月22日執行

神奈川県第9区選挙区(川崎市多摩区、宮前区(神木本町)、麻生区)

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会



中山のりひろの
すべてが本気で
立ち向かいます。

家族のいのちを
暮らしきを未来を守る



自民党公認
中山のりひろ
公明党推薦

共産党躍進で安倍暴走政治退場を

野党と市民の共同で
新しい政治をつくる



比例代表
日本共産党
くとお書き

憲法9条改憲は「ノイ」
海外で戦争する国にする
安倍政権が進行した安保法制、秘密保護法、
立憲主義の回復を世界に誇る日本の宝
憲法9条を守り、平和外交を
進めます。

原発再稼働をやめ
原発ゼロの日本へ

日本共産党を伸ばし安保法制廃止、憲法守る政治へ

暮らせる社会を
8時間働けばふつうに
増税するなら「アベノミクス」で大儲けをあげ
ている富裕層と大企業に応分の負担を求める
大軍拡と大型開発中心の予算にメスを入れ、
医療・介護など社会保障、教育・子育てなど格差
と貧困の是正につながる予算を増やします。中
小企業と農業を守ります。

消費税10%は中止
「森友・加計学園疑惑」の徹底解明
安倍首相夫妻がかかる「森友・加計学園疑惑」と國
政の私物化。世論調査では国民の7割が首相の説明
に「納得できない」と答えています。真相究明に尽力を
することは許されません。

心かよわせ、温かい政治に!
26歳、新人。そんな私に何ができるのか?それは「安倍首相だけダメ」というみなさんの
思いを全力で国会にぶつけることです。憲法と
いう政治のルールを破って、私たち国民の怒り
や悲しみを無視するような人たちに日本を任せ
せるわけにはいきません。憲法と民主主義が輝
く政治、国民の声が何よりも大切にされる政治
と一緒につくっていきましょう。ひとりひとり
が持っている小さな力を結集すれば、必ず大き
な変化を生み出せます。

党9区青年・女性部長
路 1990年、東京生まれ。早稲田大学国際教養学部卒業。シ
ンガポールで日本語教師などに従事。現在はフリーラン
ス、翻訳、ソーシャルメディアマーケティング、執筆
など。2015年、日本共産入党入。趣味は読書、手芸、ギ
ター。家族は両親と姉2人、妹1人。

齐藤のどか 検索 <http://s-nodoka.net/>



日本共産党
齊藤のどか
さいとう
温

～希望への道～
明日への責任を果たす!!



- 2030年までに原発ゼロを目指す!
- 2年後の消費増税を凍結する!
- 議員定数・議員報酬を削減する!
- 人づくりなくして国づくりなし!
- 時代に合った憲法のあり方を議論する!
- 雇用・社会保障を充実させる!
- ダイバーシティ社会を実現する!
- 民間の活力を生かして経済を活性化する!
- 危機管理を徹底する!

facebook <https://www.facebook.com/103hirofumiryu>

人づくりなくして国づくりなし

笠ひろふみプロフィール
1965年 1月3日生まれ 52歳
1983年 福岡県立修猷館高校 卒業
1989年 慶應義塾大学文学部 卒業
同年 テレビ朝日入社 営業局・報道局政治部記者
2003年 11月 衆議院議員(2期目)当選
2005年 9月 衆議院議員(3期目)当選
2009年 8月 衆議院議員(4期目)当選
2010年 9月 文部科学大臣政務官
2012年 10月 文部科学副大臣
2012年 12月 衆議院議員(4期目)当選
2013年 1月 文部科学委員会筆頭理事
2013年 6月 党幹事長代理
2014年 9月 議院運営委員会筆頭理事
党国会対策委員会筆頭副委員長
2016年 9月 国对委員長代理
2017年 9月 希望の党結党に参画

●川崎市麻生区 在住
●好きな言葉 “天命を信じて人生を尽くす”

神奈川県第9区選挙区
(川崎市多摩区・麻生区・宮前区 神木本町1丁目~5丁目)

笠ひろふみの決意

党利党略の大義なき解散に象徴されるように
安倍政権には一強政治のおごりが顕著に表
れています。今こそ、自民党一強体制を変えて、
緊張感のある政治、熟議の国会を取り戻し、
国民のための政治を実現しなければなりません。
国政を透明化し、徹底的な情報公開を推進する
ことでしがらみのない政治を実践してまいります。
私たち世代が中核となって、近い将来再び政
権を担うという覚悟で行動し、国家、国民のこ
とを第一に、子どもたちの未来のために責任を
果たすことを約束いたします。



希望の党公認 元文部科学副大臣
笠ひろふみ